

## -臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

国立国際医療研究センター病院 治療・研究開発センター/乳腺・腫瘍内科、東京医科大学病院、国立がん研究センター中央病院では、下記の共同研究機関から残余検体・診療情報等の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本センターでの研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、下記の各医療機関へ直接ご連絡いただくか、もしくは下記の問い合わせ担当者または研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] HIV合併悪性腫瘍の疫学・病理・治療・予後に関する後方視研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科 医師 下村昭彦  
本研究に関する問い合わせ先：国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科 医師 下村昭彦  
電話：03-3202-7181（応対可能時間：平日9時～16時）

[提供を受けている残余検体・診療情報等の由来者（研究対象者）]

1997年1月1日～2024年12月31日までの間に、下記のいずれかの医療機関で悪性腫瘍の治療を受けた、HIV感染と診断された20歳以上の方

1. 国立国際医療研究センター病院（機関の長：理事長 國土典宏）
2. 東京医科大学（機関の長：学長 林 由紀子）

あるいは、1997年1月1日～2024年12月31日までの間に下記医療機関で悪性腫瘍の治療を受けた20歳以上の方

1. 国立がん研究センター中央病院（機関の長：理事長 中釜 斉）

[提供を受け、本センターで利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：血漿、血清、便、尿、病理検体

診療情報等：カルテ情報（診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患名、投与薬、治療内容、生存期間、死因等）

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：有）

HIV感染が悪性腫瘍の病態・治療に与える影響についての解明を目的とした共同研究実施

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究の実施許可日より2026年3月31日までの間（予定）

提供方法：■直接手渡し ■郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[国立がん研究センター中央病院における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立がん研究センター中央病院 理事長 中釜 斉

研究責任者：国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医師 加藤健

研究内容の問い合わせ担当者：国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医師 廣瀬俊晴

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）